第 13 回一般社団法人化委員会議事録

開催日時：2025 年 5 月 28 日（水）13：30～14：20

場 所：オンライン Zoom 開催（宮代会側参加者は宮代会館にて）

出席者：弁護士 高松直樹先生（奏和法律事務所）

一般社団法人化委員会委員長	2021～23 年度 宮代会会長
一般社団法人化委員会委員	2021～23 年度 宮代会副会長
一般社団法人化委員会委員	2022～24 年度 宮代会副会長
一般社団法人化委員会委員	2024～26 年度 宮代会会長
一般社団法人化委員会委員	2024～26 年度 宮代会副会長
一般社団法人化委員会委員	2025～27 年度 宮代会副会長
事務室	宮代会事務室長

1 宮代会館に関する確認事項

- ・ 所有権：宮代会館の所有権は学校法人聖心女子学院に帰属し、昭和 51 年 5 月 30 日付で学校法人聖心女子学院と締結された取り決めにに基づき、今後も宮代会が所有権を持たない方針が維持される。
- ・ 使用权：一般社団法人化後も、宮代会は宮代会館の使用权を保持する。学校法人との間で既存の契約を継承し、「承継に関する同意書」を締結する予定である。
- ・ メンテナンス費用：宮代会館の管理運営費用は宮代会の負担である。

2 会計・運営に関する事項

- ・ 会員総会での報告書類：定款第 17 条に基づき、会員総会においては貸借対照表及び損益計算書に加え、従来会員へ配布されてきた収支決算報告書も引き続き配布する。
- ・ 監事の選任：現行の監査の任期は 3 年であり、再任により通算 6 年を務める慣例がある。一般社団法人移行後もこの慣例を尊重し、現監査が通算 6 年の任期を満了できるよう任期調整措置が講じられる。監事の選任方法については、財務監査が主要な職務である点を踏まえ、現状の選任方法（例：財務理事経験者からの選任）の継続に合理性があるが、将来的には司法書士等の法律専門家が監事に就任することも検討の余地がある。
- ・ 遺贈・寄付金控除：一般社団法人化により、宮代会は法人格を得るため遺贈を受けることが可能となる。ただし、宮代会への寄付金が寄付者の所得税における寄付金控除の対象とはならない。

3 総会準備に関する事項

- ・ ホームページ掲載の定款：総会承認後、ホームページに掲載する定款の附則部分の個人情報（氏名、住所）は「記載省略」とし、日付も空欄で掲載される。
- ・ 総会ライブ配信：総会のオンライン配信は会場全体の様子を中継することを主目的とし、議決権を持たないオンライン参加者は、ホームページに掲載される定款を各自で閲覧する。

2024 年度宮代会総会
2025 年 6 月 7 日（土曜日）午後 1 時 プリット記念ホールにて